



【要約版】投資成績が「良かった」のはどんな投資家なのか？

野村アセットマネジメント 胡桃澤瑠美

野村アセットマネジメント 森田啓介

野村証券 大庭昭彦

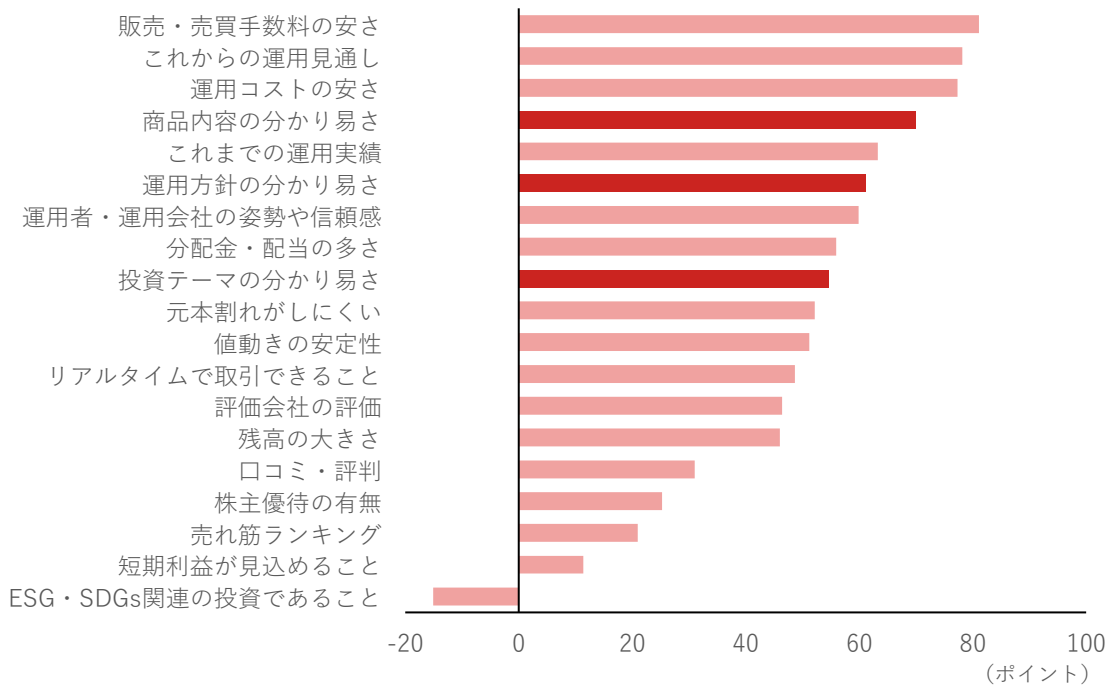
(2022年6月4～5日に開催された日本ファイナンス学会第30回記念大会において報告された内容を要約したものです。)

野村アセットマネジメント資産運用研究所が2021年8月に行った日本の個人投資家調査「ETF投資家調査2021」のデータに基づき、投資をする際に重視していることについての集計や満足度に関する統計分析を行い、以下の傾向を確認した。なお、自分の過去の投資成績が良かったと認識しているほど満足度が高いとした。

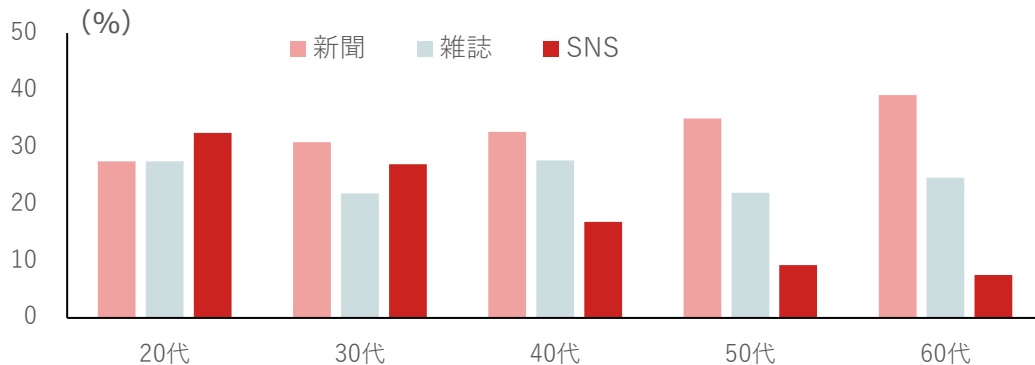
投資をする際に重視すること

- ◆ 全体に手数料・コストの安さや運用実績・見通し（の良さ）に加えて様々な観点からの分かり易さを重視。（図表1参照）
- ◆ 20代を中心とする若年層はSNSからの情報を重視。（図表2参照）

図表1 投資の際に重視する点



(注) 「重視する」「やや重視する」の回答割合から「あまり重視しない」「重視しない」の回答割合を差し引いて算出
 (出所) 野村アセットマネジメント「ETF投資家調査2021」

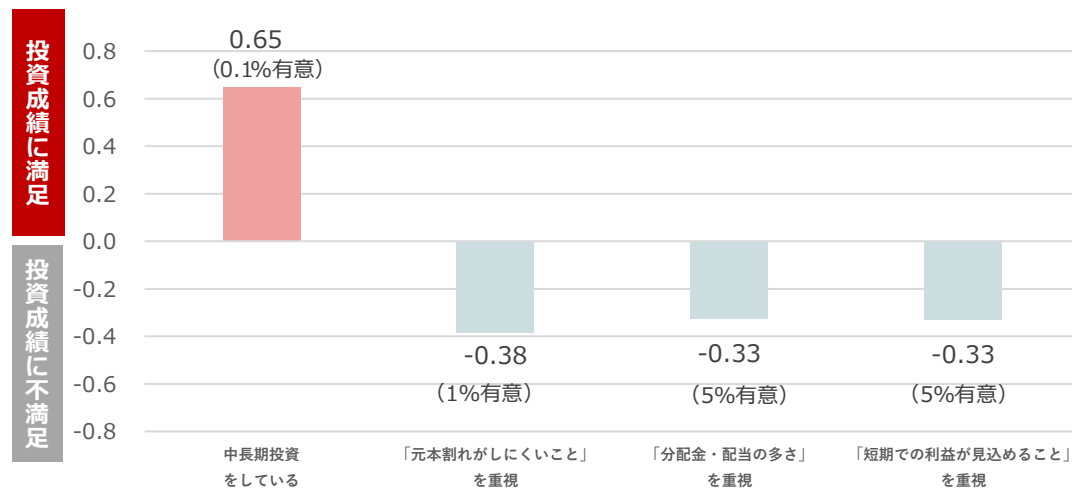
図表2 投資の際に参考にしている情報・メディア


(注) 複数回答が可能
 (出所) 野村アセットマネジメント「ETF投資家調査2021」

満足度に影響すること※ (図表3参照)

- ◆ 中長期投資をしている人は自らの投資成績に満足している傾向。
- ◆ 投資する際に「元本割れがしにくいこと」、「分配金・配当の多さ」、「短期で利益が見込めること」を重視する人は自らの投資成績に満足していない傾向。

※因果関係を示しているものではありません。

図表3 推定結果


(注) 満足度を被説明変数とする順序ロジスティックモデルによる分析結果
 (出所) 野村アセットマネジメント

分析結果を踏まえて

これからの「金融教育」においては、投資家が見たいことを見せるだけでなく、満足度に繋がるような情報を適切な方法・チャネルで提供していくことが、合理的な行動を促す上で重要であると考えられる。